山形県内の鉄道年表 (陸羽西線)

令和7年11月現在

明治43 3.14 鉄道敷設法 (明治25年6月21日法律第4号) 第7条が改訂され鉄道敷設法改正法律 (明治43年3月14日法律第22号) として公布される。これにより新圧線 (古川一新土一海田第 1月線に購入される。 (現在の陸羽西線を酒田線、陸羽東線を陸羽線、全部を通して新庄線と呼称) 大正2 12.7 新圧線中酒田線新 庄で古口間開通 (明治44年1月若工、 清川駅開設)	年	月日	事項
田) 第1期線に編入される。 (現在の陸羽西線を適田線、陸羽東線を陸羽線、全部を通して新圧線と呼称) 大正2	明治43	3.14	鉄道敷設法(明治25年6月21日法律第4号)第7条が改訂され鉄道敷設法改正法律(明
(現在の陸羽西線を酒田線、陸羽東線を陸羽線、全部を適して新庄線と呼称) 大正2	(1910)		治43年3月14日法律第22号)として公布される。これにより新庄線(古川〜新庄〜酒
大正2			田)第1期線に編入される。
大正3			(現在の陸羽西線を酒田線、陸羽東線を陸羽線、全部を通して新庄線と呼称)
大正3	大正2	12.7	新庄線中酒田線 新庄~古口間開通 (明治44年1月着工、 <u>升形、古口の各駅開設</u>)
(1914) 8.16 / 海川〜狩川間開通 (明治44年1月着工、狩川駅開設) 9.20 新庄線中海田線狩川〜余目間開通 (明治44年1月着工、金目駅開設、現在の陸羽西線全線開通) 12.24 (余目〜酒田間開通) 11.1 新庄線中陸羽線小牛田〜新庄間全通に伴い、新庄〜酒田間を陸羽西線と改称 (1917) インエ3 4.20 羽越線への一部編入により、区間を新庄〜余目間とする。 (1924) 第和27 (1952) 第名 2.15 高屋駅開設 (旅客駅) (1953) 第名 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 第名 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 12.1 米沢 (仙台) 〜酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 第和35 (1960) 第4 (10年) 〜酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台〜山形へ湾田(鶴岡)間1往復増発:昭和47年10月2日 山形〜温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台〜山形間廃止) 羽前前波駅開設 (停留所) (1966) 第4 (1974) 8.1 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 8.1 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 8.1 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 8.5 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)	(1913)		
9.6 津谷駅開設	大正3	6.14	ル 古口~清川間開通 (明治44年1月着工、 <u>清川駅開設</u>)
9.20 新庄線中酒田線 <u>特別〜余目間開通</u> (明治44年1月着工、 <u>余目駅開設</u> 、現在の <u>陸羽西線全線開通</u>) 12.24 (余目〜酒田間開通) 大正6 (1917) 新庄線中陸羽線小年田〜新庄間全通に伴い、 <u>新庄〜酒田間を陸羽西線と改称</u> (1917) 大正13	(1914)	8.16	〃 清川〜狩川間開通 (明治44年1月着工、 狩川駅開設)
接側通 12.24 (余目〜酒田間開通) 12.24 (余目〜酒田間開通)		9.6	<u>津谷駅開設</u>
大正6		9.20	
大正6 (1917) 11.1 新庄線中陸羽線小牛田〜新庄間全通に伴い、新庄〜酒田間を陸羽西線と改称 (1917) 大正13 (1924) 4.20 羽越線への一部編入により、区間を新庄〜余目間とする。 昭和27 (1952) 2.15 高屋駅開設 (旅客駅) 昭和28 (1953) 12.1 客貨分離 (1958) 昭和33 (1958) 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 昭和34 (1959) 12.1 米沢 (仙台) 〜酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 昭和35 (11.1 山形 (仙台) 〜酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台〜山形〜酒田 (鶴岡)間1往復増発:昭和47年10月2日 山形〜温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台〜山形間廃止) 昭和41 (1966) 9.1 羽前前波駅開設 (停留所) 昭和45 (1970) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 昭和49 (1974) 8.1 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 昭和51 (1976) 8.6 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 昭和53 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)			
(1917) 大正13 (1924) お超線への一部編入により、 区間を新庄~余目間とする 。 (1924) お和27 (1952) お高 屋駅開設 (旅客駅) お和28 (1953) お和33 (1958) お和34 (5.15 唐野駅開設 (停留所) (1959) 12.1 米沢(仙台)~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) お和35 (1960) 形~酒田 (4) (1960) 形~酒田 (4) (1960) 形~酒田 (4) (1960) 形~酒田 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)			
大正13 (1924) 4.20 2.15 高屋駅開設 (旅客駅) 昭和27 (1952) 2.15 高屋駅開設 (旅客駅) 昭和28 (1953) 12.1 4.1 旅客列車でディーゼル化 昭和33 (1959) 4.1 旅客列車でディーゼル化 昭和34 (1959) 5.15 12.1 2.1 米沢 (仙台) ~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 昭和35 (1960) 11.1 (1960) 山形 (仙台) ~酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台~山形~酒田(鶴岡)間 1往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台~山形間廃止) 昭和41 (1966) 9.1 (1974) 初前前波駅開設(停留所) 昭和45 (1974) 10.1 (1974) 特川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 昭和51 (1976) 集中豪雨のため不通 集中豪雨のため不通 昭和49年8月7日開通) 昭和51 (1976) 集中豪雨のため不通 昭和49年8月7日開通) 昭和53 (1976) 第4 東中豪雨のため不通 昭和53 (1976) 第4 東中豪雨のため不通		11.1	新庄線中陸羽線小牛田〜新庄間全通に伴い、 新庄〜酒田間を陸羽西線と改称
田和27		_	
昭和27 (1952) 2.15 高屋駅開設 (旅客駅) 12.1 客貨分離 (1953) 12.1 客貨分離 (1953) 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 5.15 南野駅開設 (停留所) 12.1 米沢 (仙台) ~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 11.1 山形 (仙台) ~酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台~山形~酒田 (鶴岡)間1往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台~山形間廃止) 昭和41 (1966) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) (1970) 昭和49 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.6 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		4.20	拟越線への一部編入により、 区間を新庄〜余目間とする 。
昭和28 (1953) 12.1 客貨分離 (1953) 12.1 客貨分離 (1953) 14.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 15.15 南野駅開設 (停留所) (1959) 12.1 米沢 (仙台) ~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 11.1 山形(仙台)~酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台~山形~酒田(鶴岡)間 1 往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台~山形間廃止) 13 別前前波駅開設 (停留所) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) (1976) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.6 集中豪雨のため不通 (昭和51 (1976) 17.1 に口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 第月、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 第月、 10.1 第月, 10.1		<u> </u>	
昭和28 (1953) 12.1 客貨分離 (1953) 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 12.1 株沢 (仙台) ~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期 化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 11.1 山形 (仙台) ~酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台~山 形~酒田(鶴岡)間 1往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台~山形間廃止) 昭和41 (1966) 19.1 羽前前波駅開設(停留所) (1976) 10.1 特川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) (1974) 2 年 東京のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.6 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		2.15	<u>高屋駅開設</u> (旅客駅 <i>)</i>
(1953) 昭和33 (1958) 4.1 旅客列車でディーゼル化 (1958) 12.1 旅客列車でディーゼル化 (1959) 12.1 米沢(仙台)〜酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期 化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 11.1 山形(仙台)〜酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台〜山 形〜酒田(鶴岡)間1往復増発:昭和47年10月2日 山形〜温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台〜山形間廃止) 12.1 初前放駅開設(停留所) 10.1 行川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 行川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 行列 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 10.1 74) 18和51 (1974) 18和51 8.6 集中豪雨のため不通 18和51 (1976) 15 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		101	rt- //. // tou
昭和33 (1958)		12.1	各頁分離
田和34 5.15 南野駅開設 (停留所) 12.1 米沢 (仙台) ~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 田和35 11.1 山形 (仙台) ~酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台~山形~酒田(鶴岡) 間 1往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関) 1往復増発、仙台~山形間廃止) 羽前前波駅開設 (停留所) 10.1 将川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 将川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 集中豪雨のため不通(昭和49 (1974) 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 10.1 第151 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 10.1 第151 10.1		1 1	**************************************
昭和34 (1959) 12.1 米沢 (仙台) 〜酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行) 11.1 山形 (仙台) 〜酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台〜山形〜酒田 (鶴岡)間1往復増発:昭和47年10月2日 山形〜温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台〜山形間廃止) 9.1 羽前前波駅開設(停留所) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 狩川、津谷、外形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 1974) 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		4.1	旅谷列早でアイーセル化
(1959) 12.1 米沢(仙台)~酒田間に臨時準急「もがみ」運行開始(1往復:昭和35年3月1日 定期化、後に1往復増発し羽後本荘まで運行)	<u> </u>	<u>ر</u> 1 د	苏联即臂孙 (信郊诉)
R			
昭和35 (1960) 11.1 山形 (仙台) ~酒田間に準急「月山」運行開始(1往復:昭和43年10月1日 仙台~山 形~酒田(鶴岡)間 1 往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台~山形間廃止) 9.1 羽前前波駅開設 (停留所) 10.1 行川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 1974) 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)	(1303)	12.1	
(1960) 形~酒田(鶴岡)間1往復増発:昭和47年10月2日 山形~温海間(後に鼠ヶ関)1往復増発、仙台~山形間廃止) 9.1 羽前前波駅開設 (停留所) 10.1 行川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 行川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 行列の 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 10.1 8.6 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 10.1 8.6 集中豪雨のため不通 10.1 10.1 10.1 10.1 10.1 10.1 10.1 10.	昭和35	11 1	
照和41 (1966) 9.1 羽前前波駅開設 (停留所) 昭和45 (1970) 79川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 昭和49 (1974) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 昭和51 (1976) 8.6 集中豪雨のため不通 (1976) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		11.1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
昭和41 (1966) 9.1 羽前前波駅開設 (停留所) (1970) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) (1970) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) (1974) 8.6 集中豪雨のため不通 (昭和49年8月7日開通) (1976) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)	(1300)		
(1966) 日和45 (1970) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 10.1 狩川、津谷、升形の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止) 日和49 (1974) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 日和51 (1976) 8.6 集中豪雨のため不通 (1976) 日和53 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)	昭和41	9 1	
昭和45 (1970)		3.1	THE PERSON NAMED AND PARTY OF THE PE
(1970)(1970)昭和49 (1974)8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通)昭和51 (1976)8.6 集中豪雨のため不通昭和53 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		10.1	
昭和49 (1974) 8.1 集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通) 昭和51 (1976) 8.6 集中豪雨のため不通 (1976) 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)			
(1974)8.6集中豪雨のため不通(1976)第1川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)		8.1	集中豪雨のため不通(昭和49年8月7日開通)
(1976)9.20清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)			
昭和53 9.20 清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)	昭和51	8.6	集中豪雨のため不通
	(1976)		
(1978)	昭和53	9.20	清川、古口の各駅が旅客駅化(貨物取扱廃止)
`	(1978)		

山形県内の鉄道年表 (陸羽西線)

令和7年11月現在

年	月日	事項
昭和59	2.1	荷物営業廃止線区となる
(1984)		
昭和61	11.1	山形~鼠ケ関間急行「月山」2往復廃止、また米沢・仙台~羽後本荘・酒田間急行「も
(1986)		がみ」2往復廃止(山形~庄内間直通列車は、山形~酒田間急行「月山」2往復のみとな
		る。)
		升形、高屋、狩川の各駅が簡易委託駅化
昭和62	5.25	西新庄駅新設期成同盟会設立
(1987)		
昭和63	3.13	山形~酒田間に直通列車1往復新設(上りは新庄~山形間、下りは楯岡~新庄間快速運
(1988)		転、山形~酒田間直通列車は3往復へ増加:平成元年3月11日下り各駅停車化)
平成3	3.16	高屋駅無人化
(1991)		
平成4	7.1	快速「最上川1号」の停車駅拡大(新庄~古口間各駅停車)
(1992)		
平成5	12.1	快速列車の停車駅の拡大(新庄~古口間各駅停車又は普通列車化)
(1993)		
平成7	10.14	津谷駅無人化
(1995)	~15	快速列車「最上川1号」狩川駅停車
平成9	3.22	快速「最上川2号」が普通に変更
(1997)		
平成10	3.14	新庄~余目間CTC化
(1998)		
平成11	3.12	急行「月山」が快速列車となる。
(1999)		新庄〜余目(酒田)間で快速「月山」を除いて全列車をワンマン運転化
	12.4	仙台~酒田間を直通する臨時快速列車「ホリデー最上川舟下り号」が運行され、仙台都
		市圏からの利用拡大策を積極的に展開する。(以後、春・秋季にそれぞれ2日間運行さ
		れる) - トナマの工選生の時は「ロー」 パンエルル I I I I I I I I I I I I I I I I I I
		これまで2両運転の快速「月山」が3両化に増結される。
		普通列車の運転本数見直し。新庄〜余目間12→10往復。うち新庄〜酒田7→7往復
		山形新幹線新庄延伸工事に伴い、快速「月山」(山形~酒田間3往復運行)の廃止。新
₩ +10	100	庄~酒田間快速2往復運転。 「廟の郷送見」以長くなりの番む佐田間が
平成12	12.2	<u>「奥の細道最上川ライン」の愛称使用開始</u>
(2000)	Л 1	立方町での「ヘバナ」との位体を手切したがくなとし、エコフナートコロナゼゲ
平成15 (2003)		新庄駅での「つばさ」との接続を重視したダイヤとし、下り7本、上り8本接続 新幹線接続の利便性の白上を図るため、新庄。河田間1分復増発
平成16		新幹線接続の利便性の向上を図るため、新庄~酒田間1往復増発 新型気動車6両(一般車3両、眺望車3両)導入
(2004)		新空気動車0両(一般車3両、眺望車3両)導入 快速列車の愛称名を「最上川」に変更
(2004)		
	10.16	全列車2両運転化

山形県内の鉄道年表 (陸羽西線)

令和7年11月現在

年	月日	事項
平成19	3.18	快速「最上川2号」が普通に変更
(2007)		
平成25	11.30	斜面の異常により高屋~清川間不通(平成25年12月28日開通)
(2013)		
平成26	3.8	古口駅新駅舎使用開始
(2014)		
	12.24	<u>陸羽西線開通100周年</u>
平成28	9.13	橋梁の橋脚の洗堀により古口~高屋間不通(平成28年9月14日開通)
(2016)		
令和3	12.16	狩川駅新駅舎使用開始
(2021)		
令和4	5.14	国土交通省による <u>「高屋トンネル」施工に伴い全線運転取りやめ</u> (〜令和8年1月15
(2022)		日)、代行バス運転開始
令和8	1.16	<u>陸羽西線の鉄道による全線運転再開</u>
(2026)		羽前前波駅、高屋駅の全列車通過